

2021年改訂版 循環器超音波検査の適応と判読ガイドライン

初版 修正表

下記の通り記載内容を修正致します。

(2021.7.2)

修正箇所	修正前	修正後
p.21 図9 3項目め	遅延造影像が撮像された心臓造影 CT において左心耳内血栓の存在が否定的な場合、TEE の実施は推奨されない。	遅延造影像が撮像された心臓造影 CT において左心耳内血栓の存在が否定的な場合、TEE のルーチン実施は推奨されない*。
p.21 図9 3項目めの注釈追記		*遅延像を含む心臓造影 CT 撮像後に、カテーテルアブレーション治療までの期間に血栓が形成されるリスクがあると判断された場合、あるいは適切な抗凝固療法が継続されていない場合には、TEE の施行、あるいは再度の遅延像を含む造影 CT の施行（腎機能障害のない対象において、再検査の有用性が被曝のリスクを上回ると判断された場合）を考慮する（クラス IIa）。

初版～7月2日更新版 正誤表

記載に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに下記の通り訂正いたします。

(2021.8.4)

修正箇所	修正前	修正後
p.42 表23 偽正常化の付帯条件	$TVIs / (TVIs + TVId) > 0.55$	$TVIs / (TVIs + TVId) < 0.55$
p.42 図15 二段目中央のセル	$3 \cdot TVIs / (TVIs + TVId) > 0.55$	$3 \cdot TVIs / (TVIs + TVId) < 0.55$